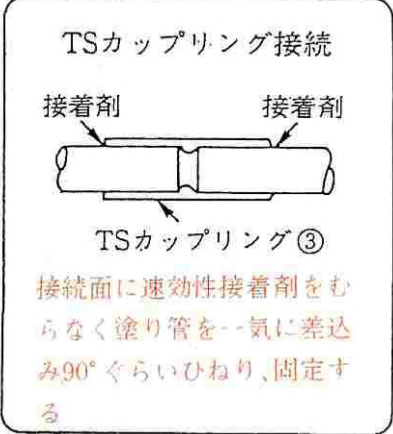
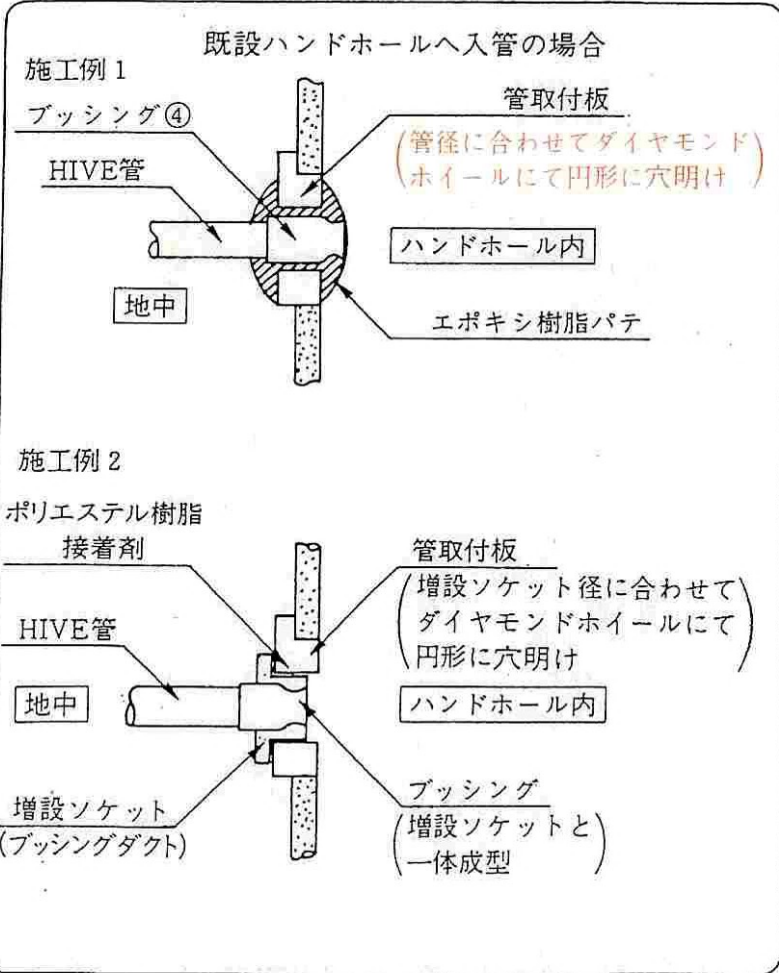
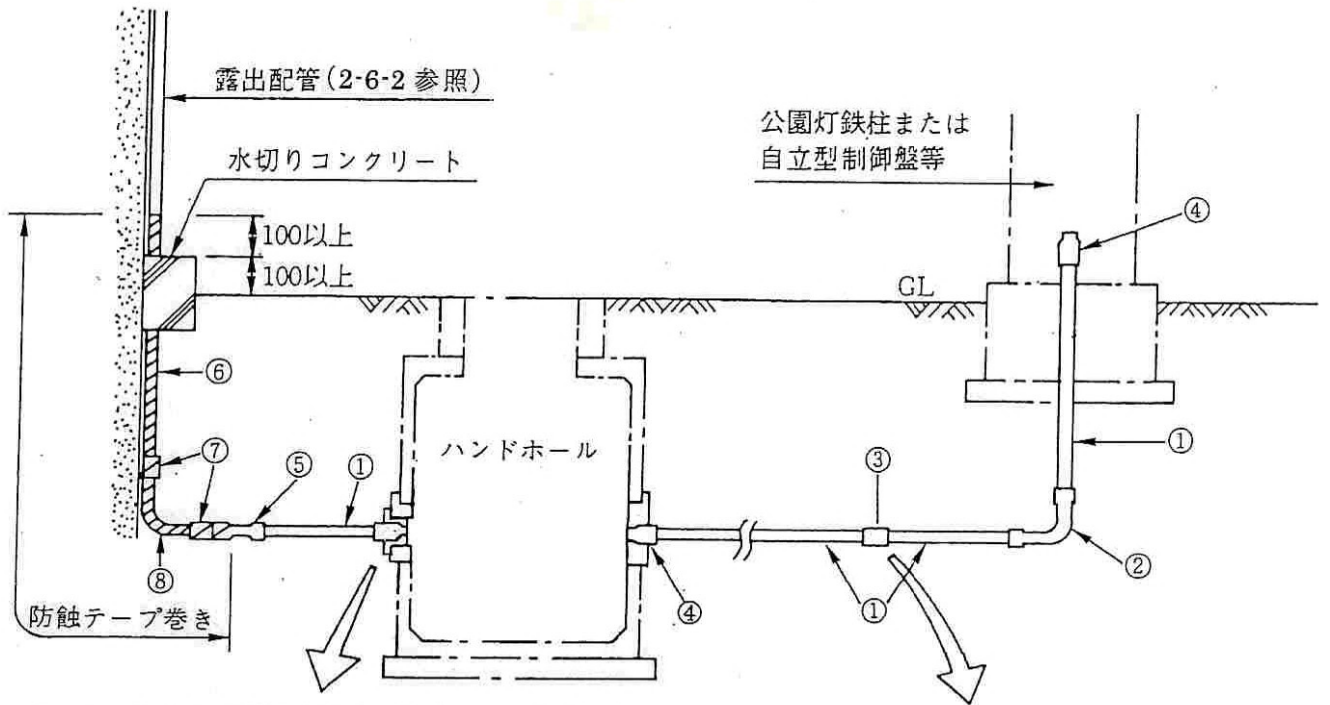


2-6-1-2 耐衝撃性硬質ビニル電線管 (HIVE管)

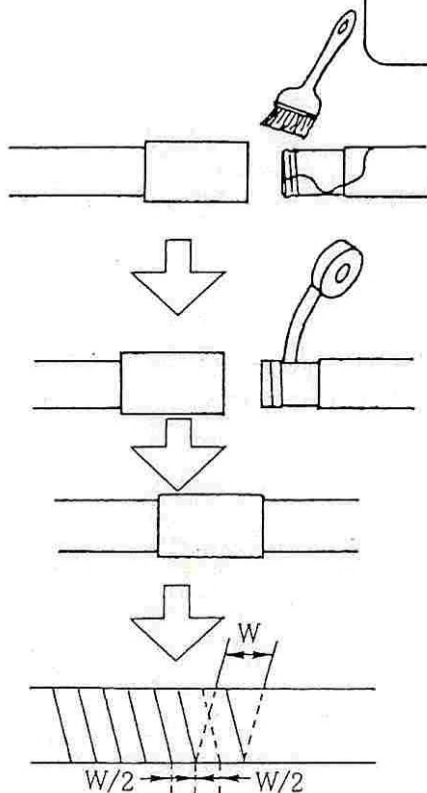
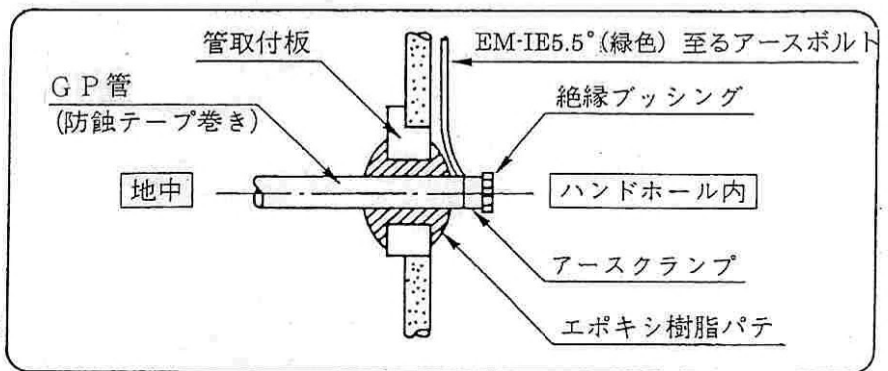
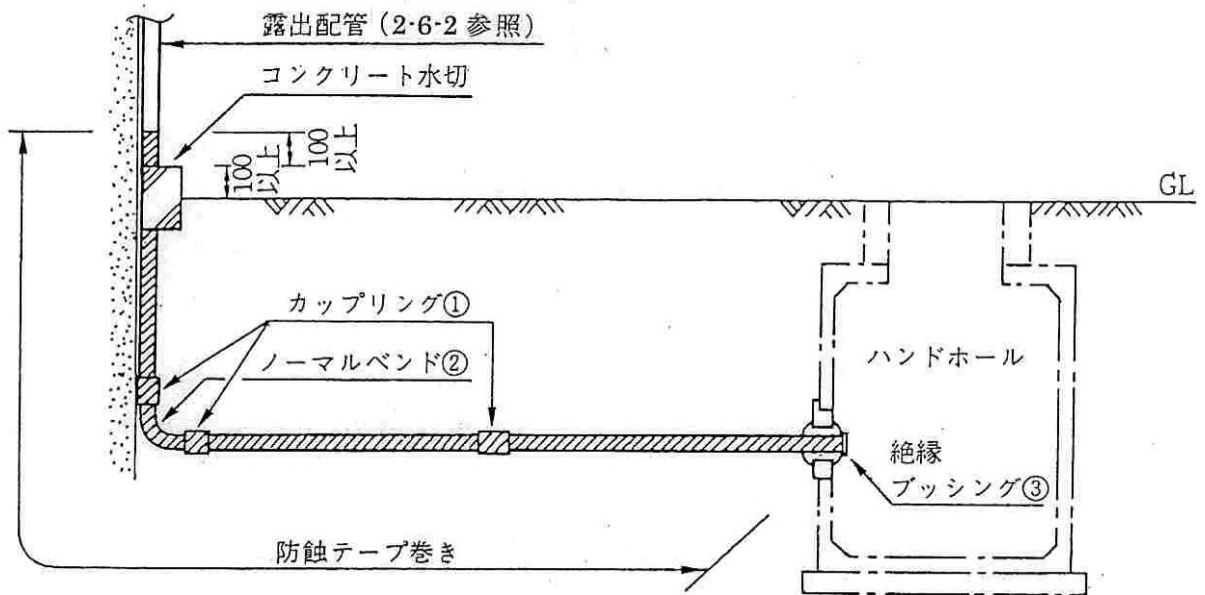
(1) 配管施工例



- ① HIVE管 直管
- ② HIVE管 ノーマルバンド
- ③ HIVE管 カップリング
- ④ HIVE管 ブッシング
- ⑤ カップリングコネクター
- ⑥ GP管 直管
- ⑦ GP管 カップリング (防蝕テープ巻)
- ⑧ GP管 ノーマルバンド (防蝕テープ巻)

2-6-1-3 金属電線管 (GP管)

(1) 配管施工例



1. 金属電線管の接続は専用のカップリングを用いて行うが、接続前に電線管ねじ切り部の亜鉛めっきはく離部分に防錆塗装(亜鉛粉末式)を行う。
2. ねじ切り部にシールテープを巻き防水接続を行う。
3. 防水接続完了。
4. 地中埋設部分は防蝕テープを施すものとし巻付け回数は $\frac{1}{2}$ 重ね巻き1回(2重)以上とする。

2-6-2 露出配管

1. 電線管は原則として厚鋼電線管とする。
2. 配管は美観を考慮し、極力造営材に垂直又は平行とする。(2-5-2-1参照)
3. 塗装は下記による。

(1)素地調整

ア、配管の汚れ、付着物及び油類を除去する。

イ、亜鉛めっき面は汚れ、付着物及び油類を除去しプライマー処理を行う。

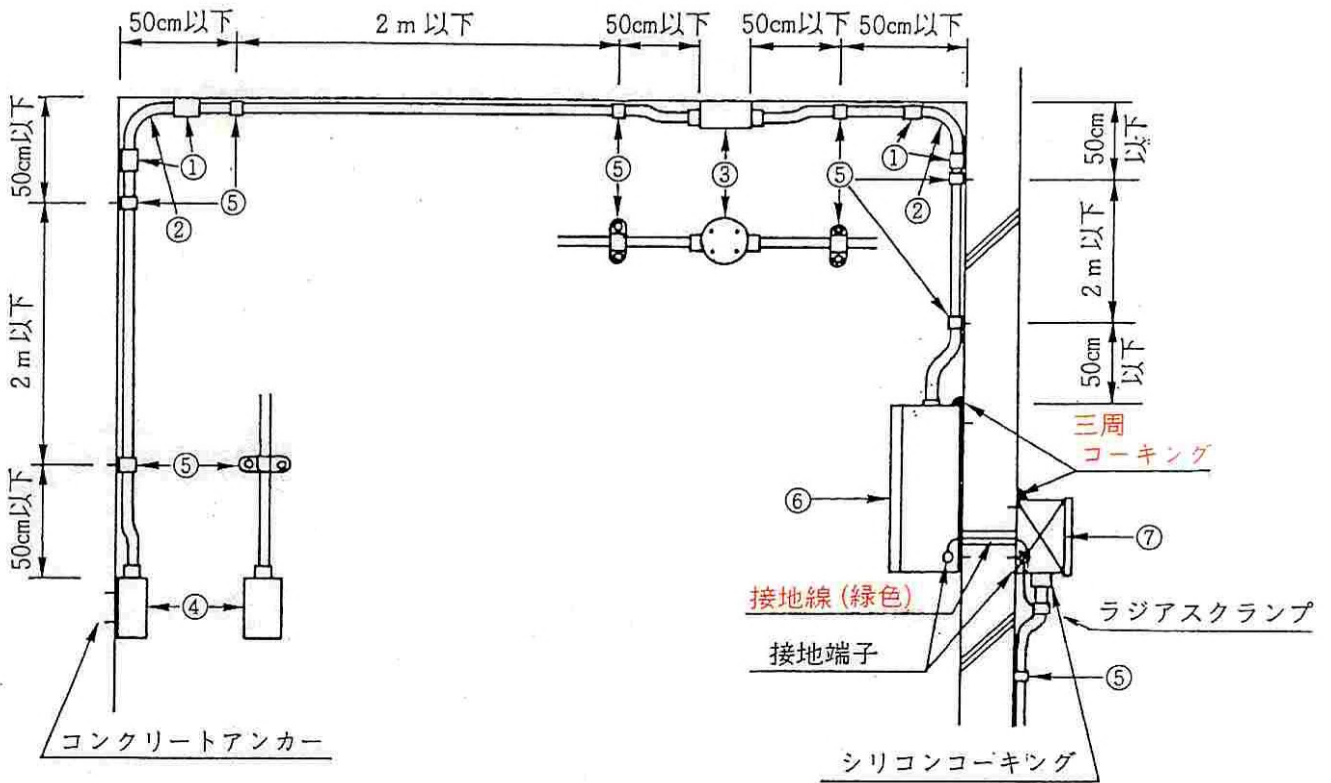
(2)仕上げ塗装

合成樹脂塗料(指定色) 2回

2-6-2-1 金属電線管 (GP)

(1) 配管施工例

既設便所等での施工事例



- ① カップリング
- ② ノーマルバンド
- ③ 丸型露出ボックス
- ④ 露出スイッチボックス
- ⑤ サドル
 - 両サドルを使用すること
- ⑥ 開閉器箱
 - 三周コーキングのこと
- ⑦ プルボックス
 - 三周コーキングのこと

1. ねじ込み接続となるカ所はボンディングを省略してもよい。

2. 防水プルボックスは溶融亜鉛めっき、又は、ステンレス製を原則とし、かぶせ蓋式(蓋止めネジはステンレス製)パッキン付とする。また、接地端子付とする。

2-7 配線

2-7-1 公園灯開閉器盤への接続

公園灯開閉器箱へのケーブル接続線色(相表示色)は下記による。

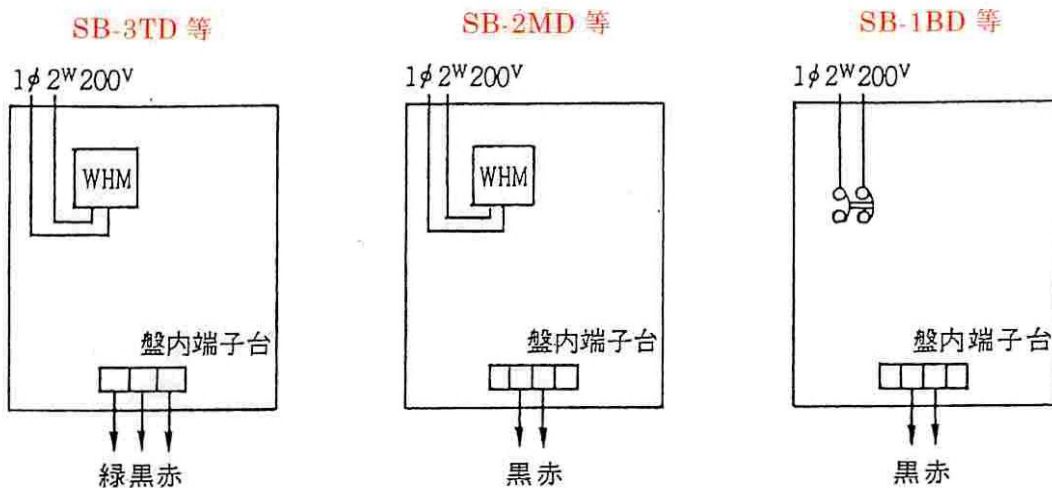


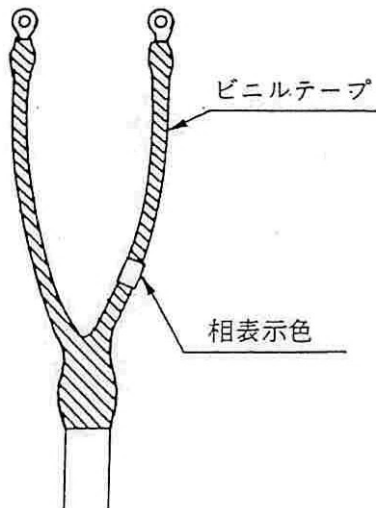
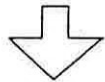
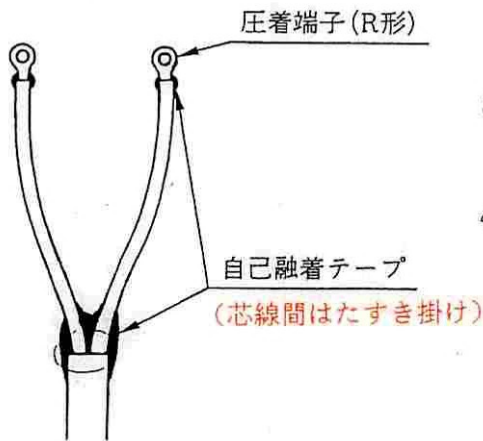
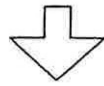
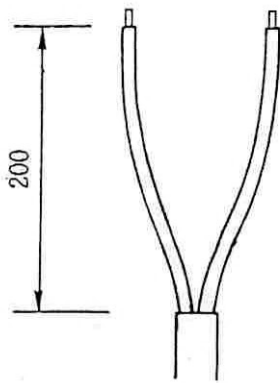
表2 公園灯開閉器箱、及び、灯具内接続ケーブル色一覧表

名称	引込電源	ケーブル芯線色			相表示色(ビニルテープ色)			備考
		第1相	中性相	第2相	第1相	中性相	第2相	
SB-3TD等	1φ 2W 200V	黒	/	赤, 白	黒	/	赤, 緑	間引きは オレンジ(テープ色)
SB-2MD等	1φ 2W 200V	黒	/	白	黒	/	赤	
SB-1BD等	1φ 2W 200V	黒	/	白	黒	/	赤	

2-7-2 電線等の接続

2-7-2-1 低圧ケーブル端末処理

(1) 分岐管を使用しない場合 (8[□]以下)



1. 汚れをウェスで取り除く。
2. 必要な部分の絶縁被覆をはぎ取る。

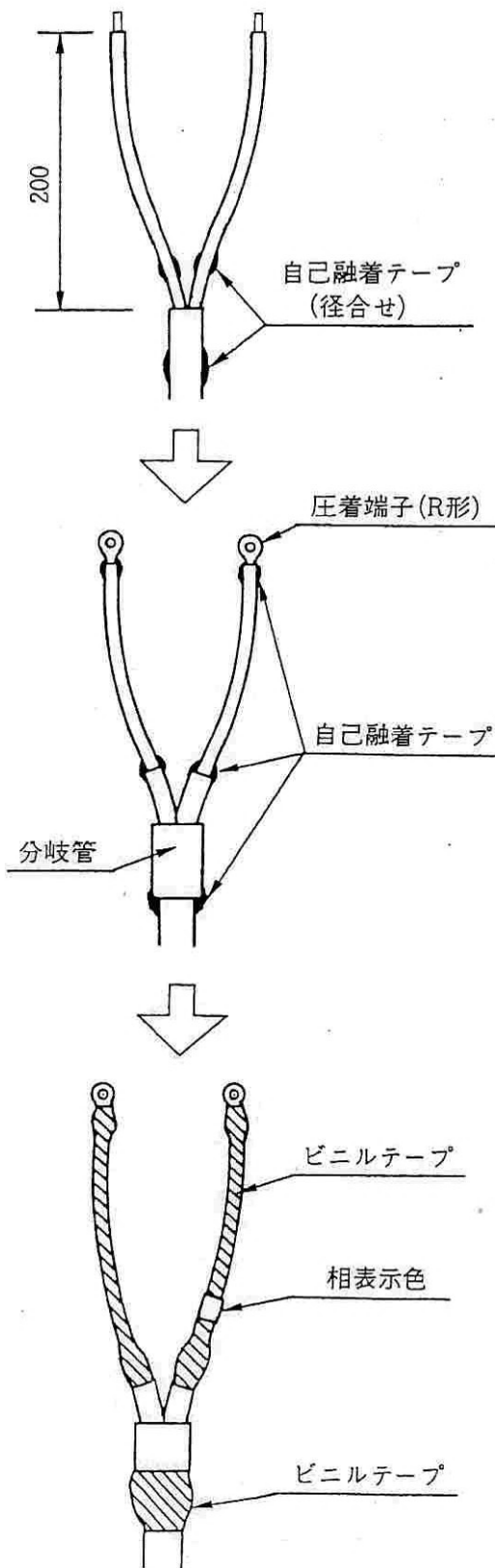
3. 圧着端子 (R形) を専用工具にて取付ける。

4. 自己融着テープを半幅以上重ね合せて巻く。
(巻き回数は原則として半幅以上重ね合せ巻き
6回以上)

5. 仕上げにビニルテープを巻く。
(巻き回数は半幅以上重ね合せ巻き4回以上)

6. 相表示色テープを巻く。
(線色は 2-7-1 参照)

(2) 分岐管を使用する場合 (14^φ以上)



1. 汚れをウェスで取り除く。
2. 必要な部分の絶縁被覆をはぎ取る。
3. 分岐管のボディ及び枝管の内径寸法にあうように自己融着テープにて径合せを行う。

4. 分岐管をケーブルにはめ込む。
5. 圧着端子 (R形) を専用工具にて取付ける。
6. 自己融着テープを半幅以上重ね合せて巻く。
(巻き回数は原則として半幅以上重ね合せ巻き 8 回以上)

7. 仕上げにビニルテープを巻く。
(巻き回数は原則として半幅以上重ね合せ巻き 5 回以上)
8. 相表示色テープを巻く。
(線色は 2-7-1 参照)